

★ 提案 57 の賛成意見 ★

提案 57 に賛成票を投じてください

California 公共安全のリーダー並びに犯罪の犠牲者は、提案 57 は危険な犯罪者を刑務所に閉じ込め、少年や大人の受刑者を更生させ、さらに納税者の数千万という税金を節約するリソースに焦点を当てるので、2016 年の公共安全及び更生法令の提案 57 を支持します。

過去数十年間にわたって、California の刑務所人口は 500% に急上昇し、刑務所費用は毎年、100 億ドル以上膨れ上がっています。その一方で、更生する受刑者の数は少なく、刑務所から釈放された後に再度、法を犯す者がほとんどです。連邦最高裁判所は、過密で違憲な状態の刑務所人口を減らすように州に命令しました。現在、私たちは常識と長期的な解決策がないまま、数十億を無駄にし、裁判所命令によって釈放された危険な囚人たちの危険にさらされ続けています。これは、California 住民を危険な状態にする容認できない結果であり、このような理由から私たちには提案 57 が必要なのです。

提案 57 は単刀直入なもので、その内容は次のとおりです：

- 刑務所の無駄な出費を減らし、納税者の税金を節約します。
 - 最も危険な違反者を閉じ込めます。
 - 主要犯罪の刑期を終えた、非暴力で有罪判決を受けた者に対して仮釈放の考慮をします。
 - 更生、善行、及び教育の節目に対して獲得し、悪行に対して取り上げる信用体系を認可します。
 - 矯正部門及び更生の長官に、これらの方針が公共安全の保護と強化を証明するように義務付けます。
 - 検察官の代わりに裁判官が、未成年を大人として起訴されるべきかを決定し、少年体系にいる未成年の更生強化を義務付けます。
- 私たちは効果があるものを知っています。より多くの受刑者が更生すると、再度、法を犯す可能性が低くなるという

根拠があります。少年裁判所の監督下のままでいる未成年は新たな犯罪を犯す可能性が低くなるという根拠もあります。提案 57 は根拠に基づいた更生に焦点をあて、少年裁判所の裁判官が、未成年を大人として起訴するべきかを決定します。

提案 57 では、自動的に刑務所から釈放されたり、釈放される資格を得たりする者はいません。

- 仮釈放が与えられるには、現在並びに将来の全ての受刑者は、更生したことと一般に危険を及ぼさないことを実証しなければなりません。
- 仮釈放審問役員会はほとんどが警察官から成り立っており、釈放の資格を決定します。
- 釈放の承認を得た者は法執行機関による監督の対象になります。

California 最高裁判所がはっきりと表明するように、提案 57 の仮釈放資格は「非暴力の重罪で有罪判決を受けた囚人のみ」に適用されます。

提案 57 はずっと前に期限が切れています。

提案 57 は、少年や大人のために根拠に基づいた更生の体系は現行体系よりも公共安全に良いものなので、その体系に焦点をあてます。

提案 57 は納税者の税金を数千万ドル節約します。

提案 57 は最も危険な犯罪者を刑務所に閉じ込めます。

提案 57 に賛成票を投じて。

www.Vote4Prop57.com

EDMUND G. BROWN JR.、California 州知事

MARK BONINI、会長

California 州保護観察官長

DIONNE WILSON、職務中に死亡した警官の未亡人

★ 提案 57 の賛成意見に対する反論 ★

提案 57 の執筆家は真実を述べていません。粗暴犯罪者に適用される法案は、犯罪を増大し、安全性を低めます。反対票を投じてください。

実態：提案 57 は、被害者に薬を飲ませて性的暴行を加えた強姦犯は非暴力なので、早期仮釈放を許可します。

実態：提案 57 は、以下を含む、乱暴で恐ろしい犯罪で有罪判決を受けた多数の犯罪者にこれら早期仮釈放の権利を与えるように、CALIFORNIA の憲法を修正します：

意識を失った状態で性的暴行を受けた被害者、性的奴隷制、凶器による攻撃、14 歳に対するわいせつ行為、人質行為、増悪犯罪による負傷。

追加の実態：

- 何千人という危険な犯罪者が早期に釈放されています。私たちはその代価を払っています。昨年、暴力犯罪率は 10%、強姦率は 37% に上昇しました。
- 提案 57 は危険な犯罪者の即時釈放を認可します。
- 以前に、殺人、強姦及び児童性的虐待で有罪判決を受けた者は早期釈放の資格を得ることになります。
- 何千人という危険な犯罪者を釈放

することは資金の節約になりません。犯罪の増大による人的損失のほかに、郡や市は警察、保安官代理、犯罪カウンセラー及び裁判所の拡大など雇用を増やさざるを得なくなります。

• 提案 57 は、有権者によって制定された強硬な法案、3 回ストライク法及び Marsy's Law である犯罪被害者の権利章典の重要な規定をひっくり返します。

弱体化する California の防犯法は常識のレベルを超えてしまいました。California の憲法を修正して、犯罪者の権利を強めるようなことはしないでください。

犯罪被害者、警察、保安官、裁判官及び検察官は提案 57 への反対票を要請します。

HONORABLE JAMES ARDAIZ、裁判長

第 5 地区上訴裁判所 (退職)

SANDRA HUTCHENS、保安官

Orange 郡

COLLENE THOMPSON CAMPBELL、設立者

Memory of Victims Everywhere

★ 提案 57 の反対意見 ★

提案 57 は、性的暴行、子どもに対するわいせつ行為、ギャングによる銃犯罪及び人身売買で有罪判決を受けた犯罪者による刑務所の早期釈放を可能にします。

このような理由から、提案 57 は地区司法長官、保安官、警察、法廷検察官、犯罪の被害者及び地域のコミュニティリーダーなど California 法執行機関から反対されています。

以下が実態です：

提案 57 の執筆家は「非暴力」の犯罪のみに適用されると主張しますが、起草が乏しい法案は追従犯罪を「非暴力」とみなし、次のような加害者による地域コミュニティへの早期仮釈放と釈放を可能にします：

- 中毒状態での性的暴行
- 意識不明の個人に対する性的暴行
- 未成年に対する性交を含む人身売買
- 走行中の車から銃撃
- 凶器による攻撃
- 人質行為
- 病院又は学校での爆弾爆発未遂
- 心的外傷を伴う家庭内暴力
- ギャングメンバーへの銃器供給
- 身体的損傷の原因になる増悪犯罪
- 性犯罪者としての未登録
- 放火
- 校内の銃器発射
- 14 歳又は 15 歳の子どもに対するわいせつ行為
- 暴力による高齢者の不法監禁。* 一部リスト

法案 57 に反対票を投じる五つの理由は次のとおりです：

- 1) 57 は、州政府官僚が、受刑者が殺人、性的暴行、子どもに対する性的虐待及び人身売買で有罪判決を受けていたとしても、「善行」の理由で減刑にすることを認めます。
- 2) 57 は、犯罪経歴が最悪の犯罪者でも初犯と同じように扱われ、裁判官によって課された強固な判決を短くします。
- 3) 「57 は、被害者を保護し、コミュニティを安全にするために有権者によって制定された Marsy's Law、「スリーストライク法」、被害者の権利章典、California 性的搾取法令の主要条項を効率的にひっくり返します」—Susan Fisher、前仮釈放委員会女性会長
- 4) 57 は、被害者は、犯された犯罪に抵抗して何度も何度も人生を送ろうとしますが、新た

な仮釈放審問によって強制的に元の人生に戻されてしまいます。5) 57 は、より高い犯罪率にする可能性があり、以前殺人や性的暴行で有罪判決を受けた者など、16,000 人以上の危険な犯罪者が早期仮釈放の資格を受けるでしょう。最後に、提案 57 は、有罪判決を受けた犯罪者の新特権や権利が California 州憲法に制定され、議会は変更することができなくなります。

間違わないでください。提案 57 が可決された場合、各家庭、各近隣地域、各学校の今日ある安全性は低下するでしょう。次について自問してみてください：

無意識の状態にある個人に性的暴行を加えた犯罪者は刑務所から早期釈放を許可されるべきでしょうか？子どもを餌食にした 50 歳の児童性的虐待者はどうでしょうか？

子どもの性交に関与する人身売買で有罪判決を受けた犯罪者が、刑期を満了する前に釈放されるべきでしょうか？

病院、学校、又は礼拝の場で爆弾を爆発しようとした犯罪者が、刑務所から早期に釈放されるべきでしょうか？

これらの質問にいいえと回答されたのであれば、地区司法長官、法廷検察官、景観、保安官、犯罪被害者、上位裁判所裁判官及びコミュニティリーダーの提案 57 に対する反対投票にご協力ください。

California 州の暴力犯罪は昨年、10% 上昇しました。暴力的で危険な犯罪者の早期釈放をこれ以上、許可しないでください。提案 57 に反対票を投じてください。

MARTIN HALLORAN、会長
San Francisco 警察官協会
GEORGE HOFSTETTER、会長
Los Angeles 保安官協会
STEPHEN WAGSTAFFE、会長
California 地方検事協会

★ 提案 57 の反対意見に対する反論 ★

提案 57 に賛成票を

提案 57 の反対意見は間違っています。

提案 57 は、刑務所の無駄な出費を削減して数千万という納税者の税金を節約し、資格ある少年や大人の受刑者を更生することで犯罪の連鎖を断ち、危険な犯罪者を刑務所に閉じ込めます。

虚偽の攻撃に捕らわれないでください。提案 57 は：

- 誰でも自動的に刑務所から釈放しません。
- 暴力違反者の仮釈放を許可しません。California 最高裁判所は、提案 57 の仮釈放資格は「非暴力の重罪で有罪判決を受けた囚人のみ」に適用されると、はっきりと表明しています。(Brown v. 上訴裁判所、2016 年 6 月 6 日)。刑法規第 667.5 項 (c) で規定の暴力犯罪者は仮釈放から除外されています。
- 刑法規第 290 項に規定のように、性犯罪者を仮釈放から除外するという連邦裁判所の命令を変更することはありません。
- 被害者の権利をないがしろにしません。
- 裁判官が重い判決を課す妨げになりません。

提案 57 は：

- 危険な犯罪者を刑務所に閉じ込めるリソースに焦点をあてます。
- 何千万という納税者の税金を節約します。
- 受刑者が更生しないで刑務所から釈放された後に再度、法を犯して体系に戻るという壊れた体系を修正します。
- 一般と被害者の意見によって開発され、公共安全の保護として認定された矯正及び更生部門の規則を実施します。San Diego 地区司法長官 Bonnie Dumanis—提案 57 の支持者は、刑務所への回転ドアを止めるツールを受刑者に提供することが必要不可欠だと知っています。(Daily Journal、2016 年 7 月 14 日)。

そして、それによって私たちのコミュニティはより安全になります。

法執行機関の当局者、犯罪の被害者、及び宗教リーダーにご協力ください：提案 57 に賛成票を投じてください。

EDMUND G. BROWN JR.、California 州知事
MARK BONINI、会長
California 州保護観察官長
DIONNE WILSON、職務中に死亡した警官の未亡人